

TOPIC (最近の話題から)

■ 教育環境の充実について【教育部総務課】

平成26年第3回市議会定例会で「平成26年度府中市一般会計補正予算」が可決されました。この補正予算は、当初予算編成後の状況の変化や、緊急に対応が必要な事業に対する予算が確保されたものです。教育費につきましても、市内小・中学校33校で、校舎内の教室等の教職員や児童・生徒が多く時間を過ごす場所の照明を省エネ効果の高いLED照明に切り替え、電気料金の削減を図るとともに、教室内の照度を確保して学習環境の改善を図ります。あわせて、LED照明を環境教育の教材として活用することで、児童・生徒の環境問題への関心を促してまいります。また、音楽室、図書室等の設置から長期経過した空調設備の更新を行い、さらに、児童・生徒の事故につながる箇所や学習環境の整備といった面から校舎等の緊急修繕を実施するほか、楽器の不足や老朽化に対処するための楽器等音楽用備品の整備や確かな学力や豊かな人間性を育むための学校図書館の整備を進めて教育環境の充実を図りました。

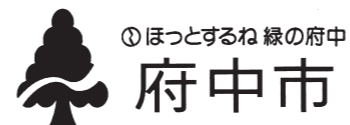
■ 市立幼稚園の縮小・廃園について【教育部学務保健課】

本市は、昭和40年頃からの人口増による幼児人口の増加に伴い、私立幼稚園の定員不足に対応するため、私立幼稚園の補完施設として府中市立幼稚園を昭和45年から51年にかけて3園を設置し、運営を行ってきましたが、幼児人口の減少及び保育施設への需要の高まりなどから、補完施設としての役割を終えたことや、定員に対する充足率の低下、公共施設の維持・運営の方向性などを総合的に判断し、府中市立幼稚園を段階的に縮小・廃園することになりました。縮小・廃園は、市内幼稚園の定員が急激に減少することがないように、1園目を平成30年度末に、2園目を平成32年度末に段階的に廃園して定員規模を縮小し、最後の3園目を平成34年度末に廃園します。3園の縮小・廃園の順は、充足率の推移や子ども・子育て支援新制度の下における平成27年度の充足率を参考にするとともに、施設の老朽化の状況などを総合的に判断して今後、決定します。

市立幼稚園の廃園後は、府中市学校教育プランの考え方に基づく、幼・小連携の充実に努めます。また、廃止後の施設や用地は、市として就学前の教育に資するものとして活用することの可能性の検証や、様々なニーズを把握しながら有効活用を図って行きます。

■ 市立学校給食センター新築事業の進捗状況について【教育部学務保健課】

市では、開設後約40年が経過し、老朽化が著しい給食センターに対する施設整備を進め、より安全でおいしい学校給食の実現を図るため、「市立学校給食センター新築事業」を進めています。これまでに、「府中市立学校給食センター基本構想」を平成24年度に、「府中市立学校給食センター基本計画」を平成25年度に策定し、今年度は、用地を取得し、基本・実施設計の業務に関する業者を選定しました。今後は、平成27年度に基本・実施設計を策定し、平成28年度から建設工事に着工します。新しい市立学校給食センターは、平成29年度2学期からの供用開始を予定しています。



# 教育委員会だより

— 99号 — 【編集・発行】 府中市教育委員会教育部学務保健課  
 (平成26年12月発行) 〒183-8703 府中市宮西町2-24 電話 042-335-4012

平成26年度 全国学力・学習状況調査結果の公表について 【教育部指導室】

文部科学省は「全国学力・学習状況調査」について、今年度から市町村教育委員会が当該市町村における公立学校全体の結果について公表することを可能といたしました。

府中市教育委員会は、児童・生徒の学力のさらなる向上のためには、児童・生徒の実態に基づき課題等を明らかにし、その上で改善のための方策を具体的に描くことが重要であると捉えております。また、改善の取組は、学校だけが行うのではなく、家庭と一体となり地域とともに行うことが必要であり、市教育委員会は、学校、家庭、地域の「学力向上」に関わる改善の方策を支援するための施策に取り組むことが重要であると考えております。そのためには市教育委員会及び学校が、保護者や学校関係者に説明責任を果たさなければならないと考えております。

以上の考えから、市教育委員会は、同調査の結果を以下のとおり公表することといたしました。全国学力・学習状況調査は、幅広く児童・生徒の学力や学習状況等を把握することなどを目的として実施されていますが、実施教科が「国語」「算数・数学」の2教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものではないことなどから、本調査の結果については、児童・生徒が身に付けるべき学力の特定の一部分であることや、学校における教育活動の一側面にすぎないことにご留意ください。

市教育委員会が公表する本調査の結果においては、国語A、国語B、算数・数学A、算数・数学Bの平均正答率等の数値を示していますが、平均正答率だけではなく、児童(生徒)質問紙調査との関連など他の情報と合わせて総合的に結果を分析、評価することが必要です。また個々の設問などに着目して学習指導上の課題を把握、分析し、児童・生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることが重要です。

紙面の関係上、ここでは一部抜粋した資料を掲載しております。市教育委員会ホームページに市の公表資料を掲載しておりますのでそちらもご覧ください。同調査の結果に関する公表内容をご覧いただき、児童・生徒の学力向上への一層のご理解とご協力の程をお願い申し上げます。

1 教科に関する調査問題の趣旨

国語 A	主として知識に関する問題	基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題(身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり、常に活用できることが望ましい知識・技能など)
算数(数学) A		
国語 B	主として活用に関する問題	基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題(知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容)
算数(数学) B		

2 教科に関する調査結果から読み取れること

		小学校	中学校
国語	定着事項	○目的に応じて話し合いの観点を整理する力が身に付いている。→司会を経験させたり、立場や意図を明確にして意見を述べさせたりするなどの指導の効果と捉えられる。 ○漢字を読む力が身に付いている。→日常的な漢字の指導の効果と捉えられる。	○辞書を活用して語句の意味を適切に書く力が身に付いている。→日常的な語句の指導や辞書活用の指導の効果と捉えられる。 ○文字の大きさや配列に注意して書く力が身に付いている。→毛筆指導と硬筆指導の関連付けができていると捉えられる。
	課題	○故事成語の使い方に課題がある。→故事成語の意味や使い方を正しく理解させ、実生活の中で用いる指導がより必要である。 ○詩の解釈の着眼点の違いを捉えることに課題がある。→自分の考えと相手の考えを比較しながら整理する指導がより必要である。	○文脈に即して漢字を正しく書くことに課題がある。→字形の似ている漢字のそれぞれの意味の理解や部首との関連、熟語や文中の意味を捉える指導がより必要である。 ○歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことに課題がある。→文語のきまりについて、音読や朗読などを通して理解する指導がより必要である。
算数・数学	定着事項	○作図に用いられる図形の約束や性質を理解している。→作図の手順を図形の特徴と対応させて理解させる指導の効果と捉えられる。 ○単位量当たりの大きさの求め方を理解している。→問題の状況を理解させ、単位にする量を明確にして、立式させる指導の効果と捉えられる。	○底面が合同で高さが等しい円柱と円錐の体積の関係を理解することができる。→柱体と錐体の体積の関係を実感を伴って理解するなどの指導の効果と捉えられる。 ○樹形図などを利用して確率を求めることができる。→樹形図等を利用して起こりうる全ての場合を落ちや重なりなく表すことに習熟させた効果と捉えられる。
	課題	○全体と部分の関係を示すために用いるグラフを選択することに課題がある。→紙面の大きさや目的に応じて、適切な目盛りの大きさやグラフ全体の大きさを決めることができるようにする指導がより必要である。 ○割合が1より大きい場合でも、1より小さい場合でも比較量の求め方が(基準量)×(割合)になることの理解に課題がある。→場面から数量関係を捉え、乗法を適切に用いることができるようにする指導がより必要である。	○グラフを事象に合わせて解釈することに課題がある。→数量の関係を表、式、グラフを用いて数学的に表現したり、数学的な表現を事象に即して解釈したりする指導がより必要である。 ○度数分布表から相対度数を求めることに課題がある。→相対度数の必要性と意味の理解を深める指導がより必要である。

※一部抜粋して掲載しています。詳しくは、府中市教育委員会ホームページをご覧ください。

### 3 児童(生徒)質問紙調査結果と教科に関する調査結果との関連から読み取れること

小・中学校共通		※ HP…府中市教育委員会ホームページ http://www.city.fuchu.tokyo.jp/kyoiku/
視 点	傾 向	資 料
学習への関心・意欲・態度	「国語や算数の授業がよく分かる」と回答する児童の方が、平均正答率が高い傾向にある。	HP
学習時間等	「学校の授業以外にも勉強する」と回答する児童の方が、平均正答率が高い傾向にある。	HP
読書	「読書が好きである」と回答する児童の方が、平均正答率が高い傾向にある。	次ページ
学校生活等	「学校に行くのが楽しい」と回答する児童の方が、平均正答率が高い傾向にある。	HP
基本的な生活習慣	「朝食を毎日食べている」と回答する児童の方が、平均正答率が高い傾向にある。	次ページ
	「毎日同じくらいの時刻に寝る・同じくらいの時刻に起きる」と回答する児童の方が、平均正答率が高い傾向にある。	HP
	「普段(月～金曜日)テレビやビデオ・DVDを見たり聞いたりする1日当たりの時間が短い」と回答する児童の方が、平均正答率が高い傾向にある。	HP
	「普段(月～金曜日)テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯型のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をする1日当たりの時間が短い」と回答する児童の方が、平均正答率が高い傾向にある。	HP
家庭でのコミュニケーション等	「家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をすると回答する児童の方が、平均正答率が高い傾向にある。」	HP
	「家の人(兄弟姉妹を除く)は、授業参観や運動会などの学校の行事によく来る」と回答する児童の方が、平均正答率が高い傾向にある。	HP
地域とのかかわり	「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答する児童の方が、平均正答率が高い傾向にある。	HP

### 4 学力向上を図るための学校・家庭・地域・市教育委員会の取組

	小学校	中学校
学校の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎的・基本的な事項の確実な定着を一層図る。</li> <li>・四則演算など基本的な計算の技能を定着させる指導や音読・朗読を通して作品を味わう指導の充実を図る。</li> <li>○思考力・判断力・表現力を高める指導の一層の充実を図る。</li> <li>・言語活動の充実を図る。特に、共通点や相違点を考え、比較検討する活動の充実を図る。</li> <li>○学習規律の一層の徹底を図る。</li> <li>・約束やきまりを守ることの大切さについての児童の理解を深める指導を継続する。</li> <li>○小・中連携、一貫教育やコミュニティ・スクールの取組を推進する。</li> <li>・多彩な授業を展開し、児童が「楽しい」「分かる」と実感できる授業の実践に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎的・基本的な事項の確実な定着を一層図る。</li> <li>・漢字学習など繰り返す学習や既習事項を振り返る学習の充実を図る。</li> <li>○思考力・判断力・表現力を高める指導の一層の充実を図る。</li> <li>・言語活動の充実を図る。特に、共通点や相違点を考え、比較検討する活動の充実を図る。</li> <li>○学習規律の一層の徹底を図る。</li> <li>・規律やルールを守ることを大切さについての生徒の理解を深める指導を継続する。</li> <li>○小・中連携、一貫教育やコミュニティ・スクールの取組を推進する。</li> <li>・多彩な授業を展開し、生徒が「楽しい」「分かる」と実感できる授業の実践に努める。</li> </ul>
家庭の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「早寝・早起き・朝ごはん」「携帯電話の使用のルール」などの基本的な生活習慣や家庭の約束を確立する。</li> <li>○家庭での読書や基礎的・基本的な事項の定着のための家庭学習を習慣化する。</li> <li>○学校の行事や授業公開等に参加し、家庭でも学校の取組等について話題とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「生活のリズムを整えること」「携帯電話の使用のルール」など生活習慣やルール・マナーを守らせることに努める。</li> <li>○家庭での読書や基礎的・基本的な事項の定着のための家庭学習を習慣化する。</li> <li>○学校の行事や授業公開等に参加し、家庭でも学校の取組を話題とする。</li> </ul>
地域の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校公開や様々な行事等を通して、学校の様子を知る。</li> <li>○「コミュニティ・スクール」の取組を通じた、学校を核とする地域コミュニティづくりに参加する。</li> <li>○地域の児童・生徒と挨拶を交わすなど交流する。</li> </ul>	
市教育委員会の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎的・基本的な事項の確実な習得のために各種指導資料の活用方法等について指導主事が学校を訪問し助言する。</li> <li>○市教育委員会が実施する教員研修の体系や内容を一層充実させ、児童が「分かる」「楽しい」と実感できる授業実践を支援する。</li> <li>○T・T、少人数指導、学習支援員等の配置を継続するとともに、家庭学習の普及及び啓発のための方策に具体的に取り組む。</li> <li>○小・中連携、一貫教育やコミュニティ・スクールの取組を推進し、学校・家庭・地域が一体となり、児童の学力向上に取り組む仕組みを構築する。</li> </ul>	

### 資 料

#### 平均正答率

	小学校				中学校			
	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B
府中市	75.0	56.9	79.6	60.9	80.6	53.1	70.3	62.1
東京都	75.5	57.2	79.4	61.2	80.7	53.2	68.8	61.8
全 国	72.9	55.5	78.1	58.2	79.4	51.0	67.4	59.8

#### 児童(生徒)質問紙と教科に関する調査とのクロス集計結果

児童(生徒)質問紙における回答状況ごとの平均正答率(一部抜粋)

##### 【朝食を毎日食べていますか(1)】※括弧内の数字は質問番号

小学校	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	中学校	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B
している	76.0	58.3	80.5	62.1	している	82.2	54.9	72.2	64.2
どちらかといえばしている	67.1	46.1	72.1	50.0	どちらかといえばしている	74.1	45.8	62.3	53.5
あまりしていない	64.6	46.9	70.2	53.5	あまりしていない	67.7	38.1	53.3	43.5
全くしていない	53.3	30.0	56.9	34.2	全くしていない	66.3	31.1	54.6	41.0

##### 【読書は好きですか(53)】※括弧内の数字は質問番号

小学校	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	中学校	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B
当てはまる	79.9	63.2	82.0	65.9	当てはまる	84.9	58.6	73.7	66.4
どちらかといえば当てはまる	71.7	53.6	77.6	56.7	どちらかといえば当てはまる	80.5	53.3	70.0	63.2
どちらかといえば当てはまらない	70.5	50.7	78.0	57.6	どちらかといえば当てはまらない	75.8	45.4	67.0	56.5
当てはまらない	68.0	46.9	76.1	53.7	当てはまらない	70.8	40.9	62.3	50.8

#### 設問別結果(正答率)

国語 A (小学校 一部抜粋)

設問番号	出題の趣旨	府中市	東京都	全 国
1-1		94.9	93.0	91.7
1-2	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	90.1	88.5	87.0
1-3		75.4	74.5	74.4

国語 B (小学校 一部抜粋)

設問番号	出題の趣旨	府中市	東京都	全 国
1-1	目的に応じて、話合いの観点を整理する	72.1	67.8	65.2
1-2	質問の意図を捉える	63.5	64.0	60.2

算数 A (小学校 一部抜粋)

設問番号	出題の趣旨	府中市	東京都	全 国
1(1)	繰り上がりのある加法の計算をすることができる	97.0	96.8	96.9
1(2)	被乗数に空位のある整数の乗法の計算をすることができる	93.0	92.7	92.8
1(3)	小数第1位までの減法の計算をすることができる	82.7	85.9	83.8

算数 B (小学校 一部抜粋)

設問番号	出題の趣旨	府中市	東京都	全 国
1(1)	示された場面から計算の結果の見通しをもち、(2位数)×(1位数)の筆算をすることができる	96.2	95.0	94.6
1(2)	示された計算のきまりを基に、異なる数値の場合でも工夫して計算する方法を記述できる	57.7	56.9	55.2

国語 A (中学校 一部抜粋)

設問番号	出題の趣旨	府中市	東京都	全 国
1-1	目的に応じて、資料を効果的に活用して話す	79.9	78.9	78.6
1-2	必要に応じて質問し、足りない情報を聞き出す	82.2	80.6	80.3
2-1	心情が相手に効果的に伝わるように、描写を工夫して書き加える	91.7	92.0	90.9

国語 B (中学校 一部抜粋)

設問番号	出題の趣旨	府中市	東京都	全 国
1-1	表現の技法について理解する	64.9	65.7	65.3
1-2	文章に表れているものの見方について、自分の考えをもつ	60.2	59.8	58.9

数学 A (中学校 一部抜粋)

設問番号	出題の趣旨	府中市	東京都	全 国
1(1)	分数の除法の計算ができる	89.3	87.0	85.8
1(2)	指数を含む正の数と負の数の計算ができる	74.9	72.1	70.7
1(3)	絶対値の意味を理解している	77.4	77.9	81.0

数学 B (中学校 一部抜粋)

設問番号	出題の趣旨	府中市	東京都	全 国
1(1)	与えられた図から情報を適切に選択し、空間における図形の位置関係を的確に捉えることができる	80.3	80.1	77.0
1(2)	日常的な事象を表した図を観察し、空間における位置に関する情報を適切に読み取ることができる	93.5	93.4	92.8

※府中市教育委員会ホームページに他の質問におけるクロス集計結果や設問ごとの正答率を掲載しています。